

-教職員向け-

見附市立小中学校の適正規模等に関する市民アンケート調査結果

令和 7 年 9 月 見附市教育委員会

1. 目的

市内の小・中・特別支援学校に勤務されている教職員の皆様を対象に「市立学校配置等検討委員会」による答申書の内容をお知らせするとともに、見附市の未来を託す子どもたちにとって目指すべき教育環境を実現するため、今年度「学校適正配置計画」の策定にあたり、市立小中学校の適正規模や小規模校の特色ある取組について、教職員の皆様のお考えをお聞きするものです。

2. 調査対象及び調査方法

調査対象：見附市立小・中・特別支援学校に勤務する教職員の皆様

見附市内の保育園、認定こども園に勤務する保育関係職員の皆様

調査方法：インターネット（Google フォーム）による回答

周知方法：WEB 配信、メール配信、一部 QR コード付き案内文書送付

3. 実施期間

令和 7 年 6 月 9 日（月）から 6 月 23 日（月）

4. 有効回答件数

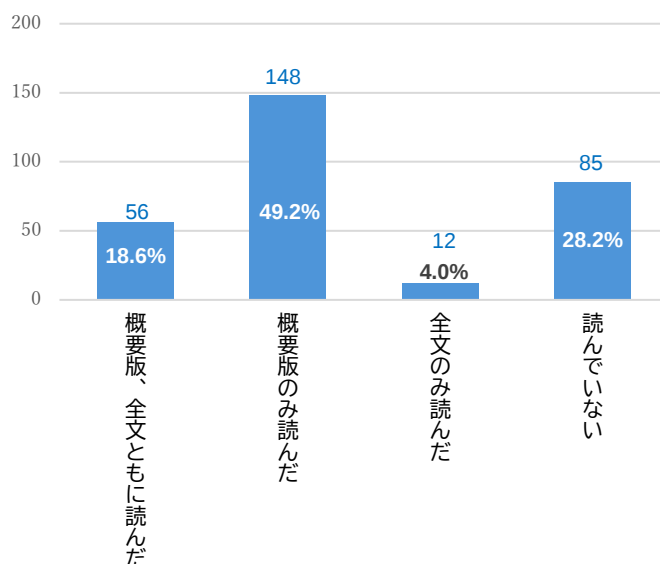
合計 301 件

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しています

5. 調査結果

Q1. 子どもたちの学ぶ環境について様々な課題が出てきていることから、市教育委員会は令和6年度に設置した「市立学校配置等検討委員会」に目指すべき教育環境について諮問を行い、令和7年3月に同委員会より答申が提出されました。あなたは、この答申をお読みになりましたか？

概要版、全文ともに読んだ	56	18.6%
概要版のみ読んだ	148	49.2%
全文のみ読んだ	12	4.0%
読んでいない	85	28.2%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



【答申】1. 見附市学校整備の基本方針では

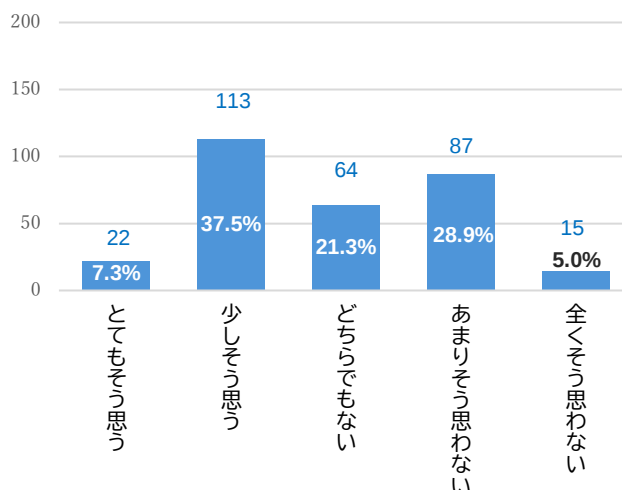
(1)「共創郷育をより着実に推進できるように、コンパクトな見附市の良さを活かした学校配置等を検討し統合整備を行う。その際に、児童生徒の多様性に対応できる学びの場の確保と教育の質を保障するため、小規模で特色のある教育を受けることのできる環境の整備も大事にするように努める。」としています。このことについてお考えをお聞きます。

小学校、中学校のそれぞれで小規模校における特色ある取組を行うことによって、「児童生徒が少なくなることの課題」に対応することができると考えますか。

【小学校の小規模校について】

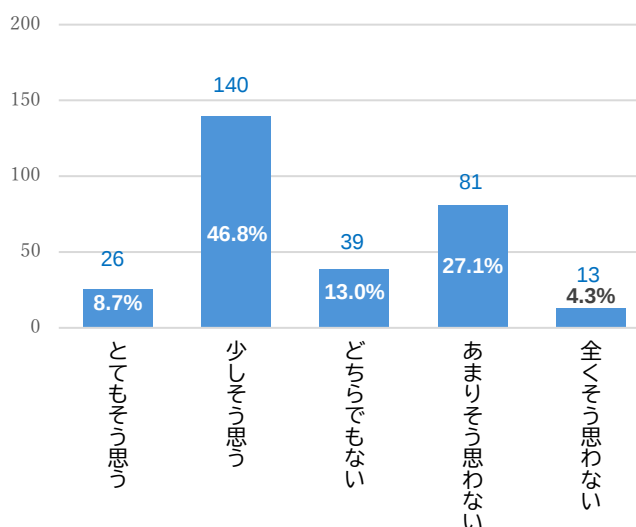
Q2. 複数校による合同授業を行うことである程度対応することはできる。

とてもそう思う	22	7.3%
少しそう思う	113	37.5%
どちらでもない	64	21.3%
あまりそう思わない	87	28.9%
全くそう思わない	15	5.0%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



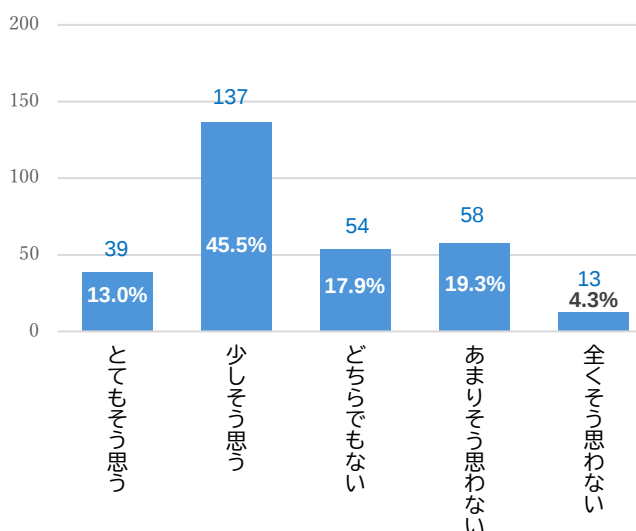
Q3. オンライン授業など IT 機器を活用することである程度対応することはできる。

とてもそう思う	26	8.7%
少しそう思う	140	46.8%
どちらでもない	39	13.0%
あまりそう思わない	81	27.1%
全くそう思わない	13	4.3%
総計 (無回答)	299 (2)	100%



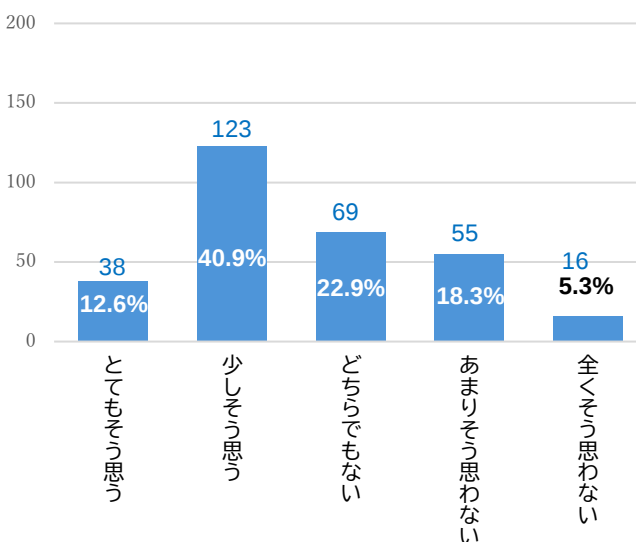
Q4. 外部の専門講師による指導を受けることによってある程度対応することはできる。

とてもそう思う	39	13.0%
少しそう思う	137	45.5%
どちらでもない	54	17.9%
あまりそう思わない	58	19.3%
全くそう思わない	13	4.3%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



Q5. 学区外からの児童生徒を受け入れることによってある程度対応することはできる。

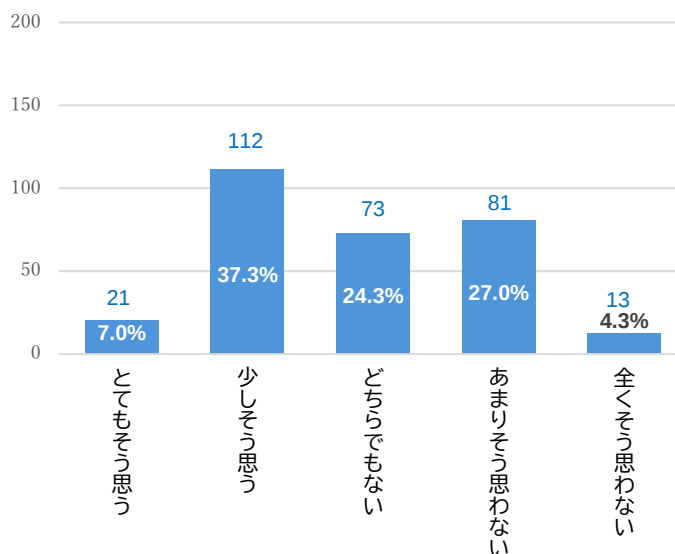
とてもそう思う	38	12.6%
少しそう思う	123	40.9%
どちらでもない	69	22.9%
あまりそう思わない	55	18.3%
全くそう思わない	16	5.3%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



【中学校の小規模校について】

Q6. 中学校についても、小学校のような特色のある取組を行うことによって、「児童生徒数が少なくなることの課題」に対応することができるようになると思いますか？

とてもそう思う	21	7.0%
少しそう思う	112	37.3%
どちらでもない	73	24.3%
あまりそう思わない	81	27.0%
全くそう思わない	13	4.3%
総計 (無回答)	300 (1)	100%

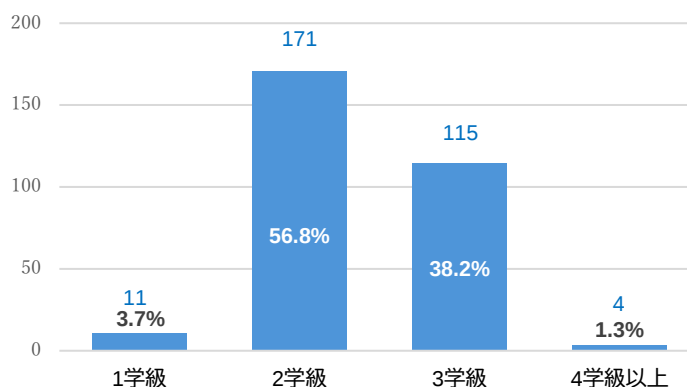


【答申】1. 見附市学校整備の基本方針では

(2)「小学校は、児童が社会性、協調性等を育むことができるように、多様な見方・考え方を活かして共に学びあう一定規模の学習集団を確保できるよう統合整備を行う。」としています。このことについてお考えをお聞きます。

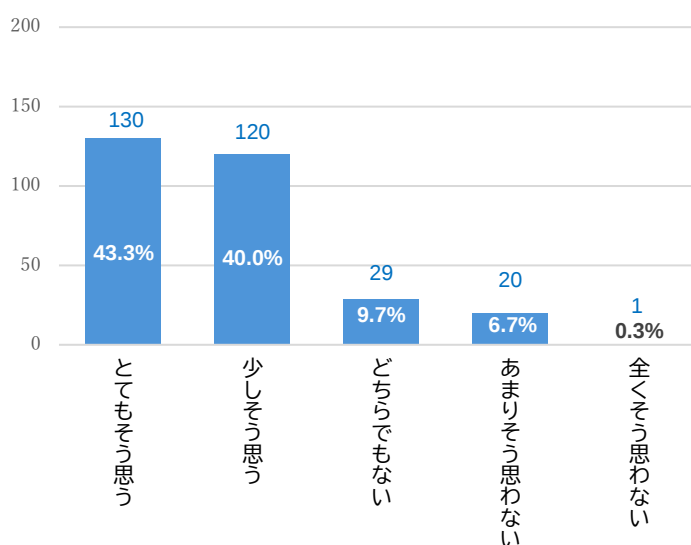
Q7. 小学校は共に学びあう一定規模の学習集団を確保できるような教育環境が望ましいとしていますが、小学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？

1学級	11	3.7%
2学級	171	56.8%
3学級	115	38.2%
4学級以上	4	1.3%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



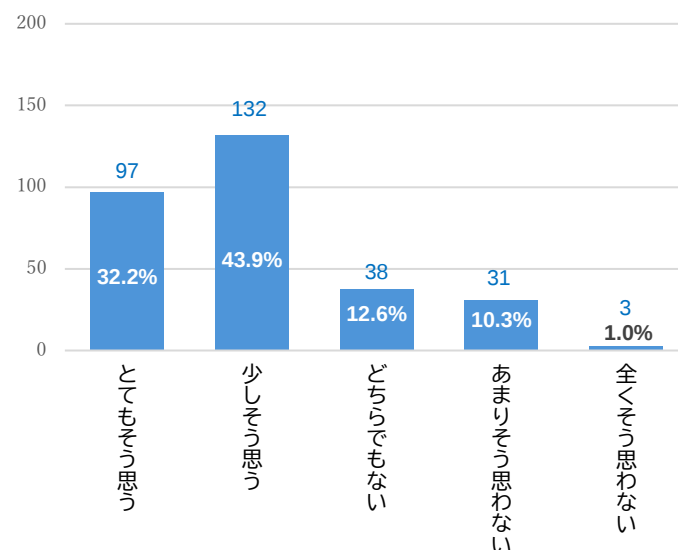
Q8. 一定規模の人数がいないと人間関係が固定化し、修復が難しい。

とてもそう思う	130	43.3%
少しそう思う	120	40.0%
どちらでもない	29	9.7%
あまりそう思わない	20	6.7%
全くそう思わない	1	0.3%
総計 (無回答)	300 (1)	100%



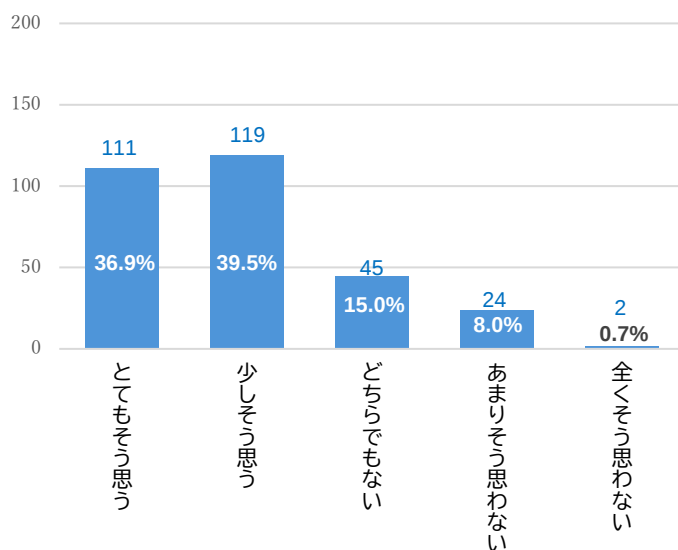
Q9. 運動会や合唱コンクールなど学校行事の実施に制約がある。

とてもそう思う	97	32.2%
少しそう思う	132	43.9%
どちらでもない	38	12.6%
あまりそう思わない	31	10.3%
全くそう思わない	3	1.0%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



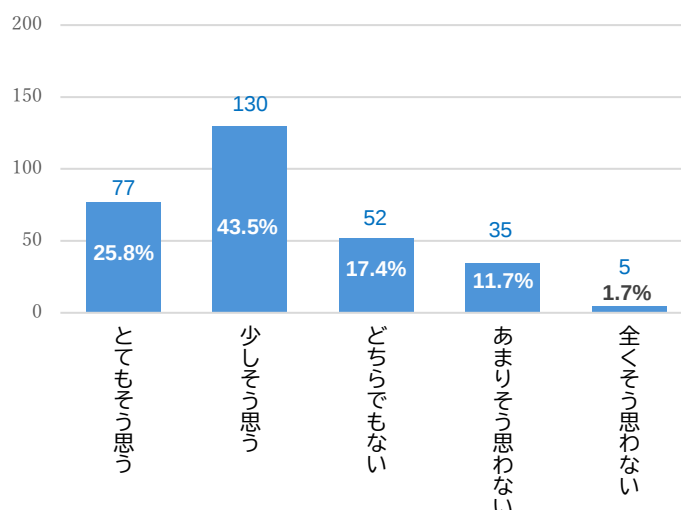
Q10. 集団の中で、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなりやすい。

とてもそう思う	111	36.9%
少しそう思う	119	39.5%
どちらでもない	45	15.0%
あまりそう思わない	24	8.0%
全くそう思わない	2	0.7%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



Q11. 一定規模の人数がいないと、多くの児童同士がかかわりあい、切磋琢磨するような環境が生まれにくくなり意欲や成長が引き出されにくい。

とてもそう思う	77	25.8%
少しそう思う	130	43.5%
どちらでもない	52	17.4%
あまりそう思わない	35	11.7%
全くそう思わない	5	1.7%
総計 (無回答)	299 (2)	100%

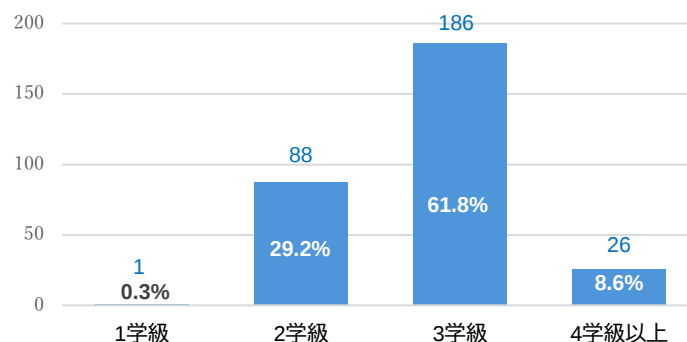


【答申】 1. 見附市学校整備の基本方針では

(3)「中学校は、教育効果の向上と教育の機会の確保を図るため、可能な限り専門教科教員を配置することができるよう統合整備を行う。」としています。このことについてお考えをお聞きます。

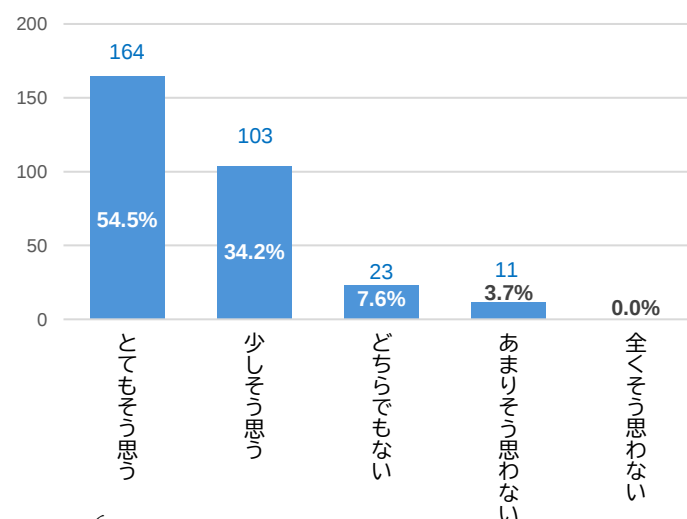
Q12. 中学校は可能な限り専門教科教員を配置できるような教育環境が望ましいとしています、中学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？

1学級	1	0.3%
2学級	88	29.2%
3学級	186	61.8%
4学級以上	26	8.6%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



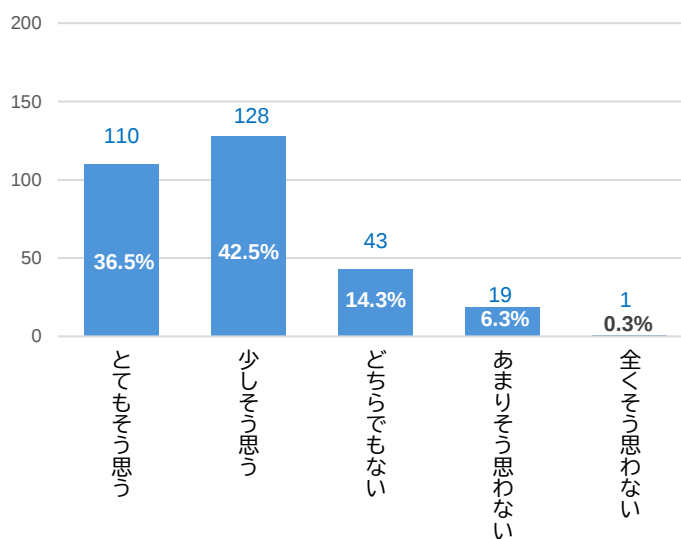
Q13. クラス替えができないと人間関係が固定化し、修復が難しい。

とてもそう思う	164	54.5%
少しそう思う	103	34.2%
どちらでもない	23	7.6%
あまりそう思わない	11	3.7%
全くそう思わない	0	0.0%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



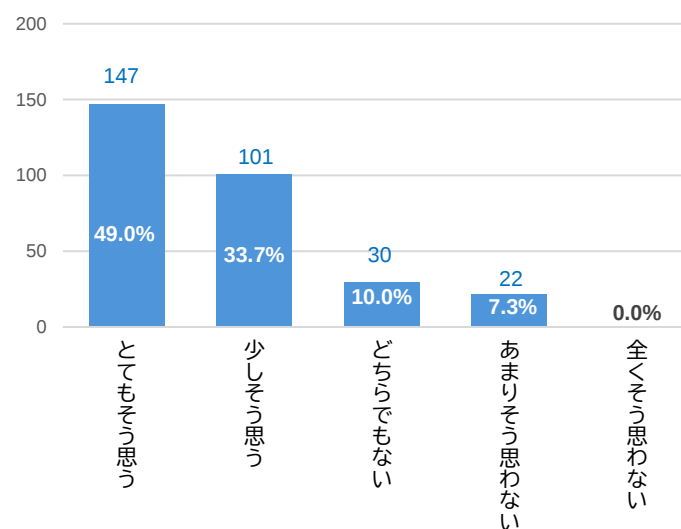
Q14. 運動会や合唱コンクールなど学校行事の実施に制約がある。

とてもそう思う	110	36.5%
少しそう思う	128	42.5%
どちらでもない	43	14.3%
あまりそう思わない	19	6.3%
全くそう思わない	1	0.3%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



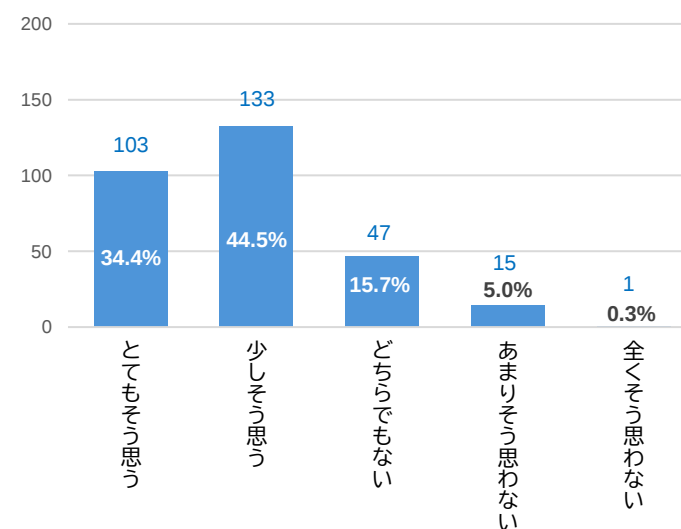
Q15. 学級（クラス）数が減ってしまうことは、配置される先生の人数が減ってしまい、専門外教科の先生が教えることがでてくるため、教育の質の低下につながるのでは好ましくない。

とてもそう思う	147	49.0%
少しそう思う	101	33.7%
どちらでもない	30	10.0%
あまりそう思わない	22	7.3%
全くそう思わない	0	0.0%
総計 (無回答)	300 (1)	100%



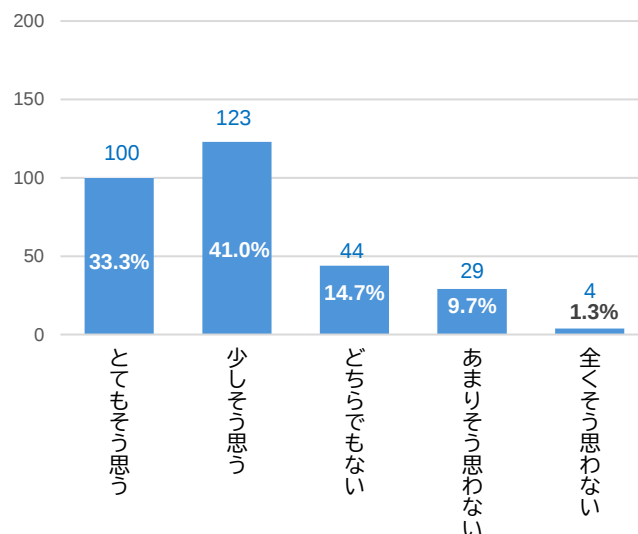
Q16. 集団の中で、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなりやすい。

とてもそう思う	103	34.4%
少しそう思う	133	44.5%
どちらでもない	47	15.7%
あまりそう思わない	15	5.0%
全くそう思わない	1	0.3%
総計 (無回答)	299 (2)	100%



Q17. クラス替えができないと、多くの生徒同士がかかわりあい、切磋琢磨するような環境が生まれにくくなり意欲や成長が引き出されにくい。

とてもそう思う	100	33.3%
少しそう思う	123	41.0%
どちらでもない	44	14.7%
あまりそう思わない	29	9.7%
全くそう思わない	4	1.3%
総計 (無回答)	300 (1)	100%

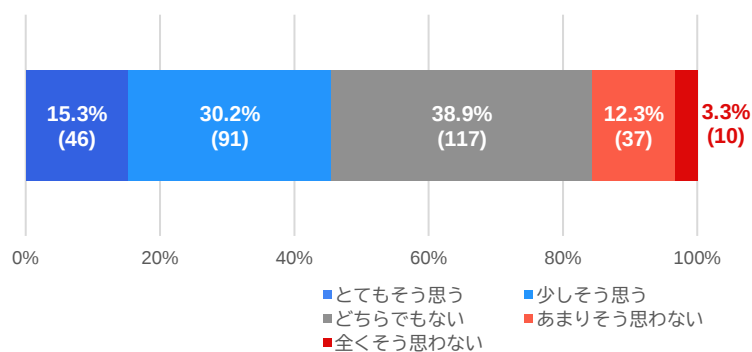


【答申】2. 目指すべき教育環境の実現に向けた方策として

(2)「共創郷育による小学校と中学校が連携した一貫教育をより着実に推進することとして、小中学校の学区について検討し見直しを行う」としています。このことについてお考えをお聞きます。

Q18. 小学校と中学校が連携した一貫教育を推進するため、別々の中学校に進学するような小学校区について見直すことが適切だと思いますか？

とてもそう思う	46	15.3%
少しそう思う	91	30.2%
どちらでもない	117	38.9%
あまりそう思わない	37	12.3%
全くそう思わない	10	3.3%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



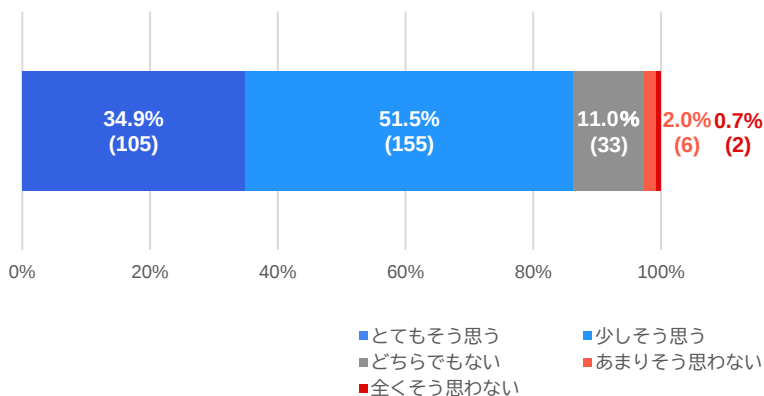
【答申】2. 目指すべき教育環境の実現に向けた方策として

(3)「多様な学びの場を選べる環境を整備することとし、オープンスクール制度※に加えて、複式学級のある小規模校から中大規模校への進学を可能とする」としています。このことについてお考えをお聞きます。

※オープンスクール制度とは、小規模、少人数で複式学級がある中で、その特性をいかした教育を推進している見附第二小学校、上北谷小学校及び田井小学校の3校を市教育委員会が国の小規模特認校制度を活用して「オープンスクール」として指定し、市内のどの学区からも就学を希望する児童の通学を認めている制度のことです。

Q19. 複式学級のある小規模校から中大規模校への通学を可能とするなど多様な学びの場を選択することは適切だと思いますか？

とてもそう思う	105	34.9%
少しそう思う	155	51.5%
どちらでもない	33	11.0%
あまりそう思わない	6	2.0%
全くそう思わない	2	0.7%
総計 (無回答)	301 (0)	100%



Q20. 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。全体で109件の意見が寄せられました。

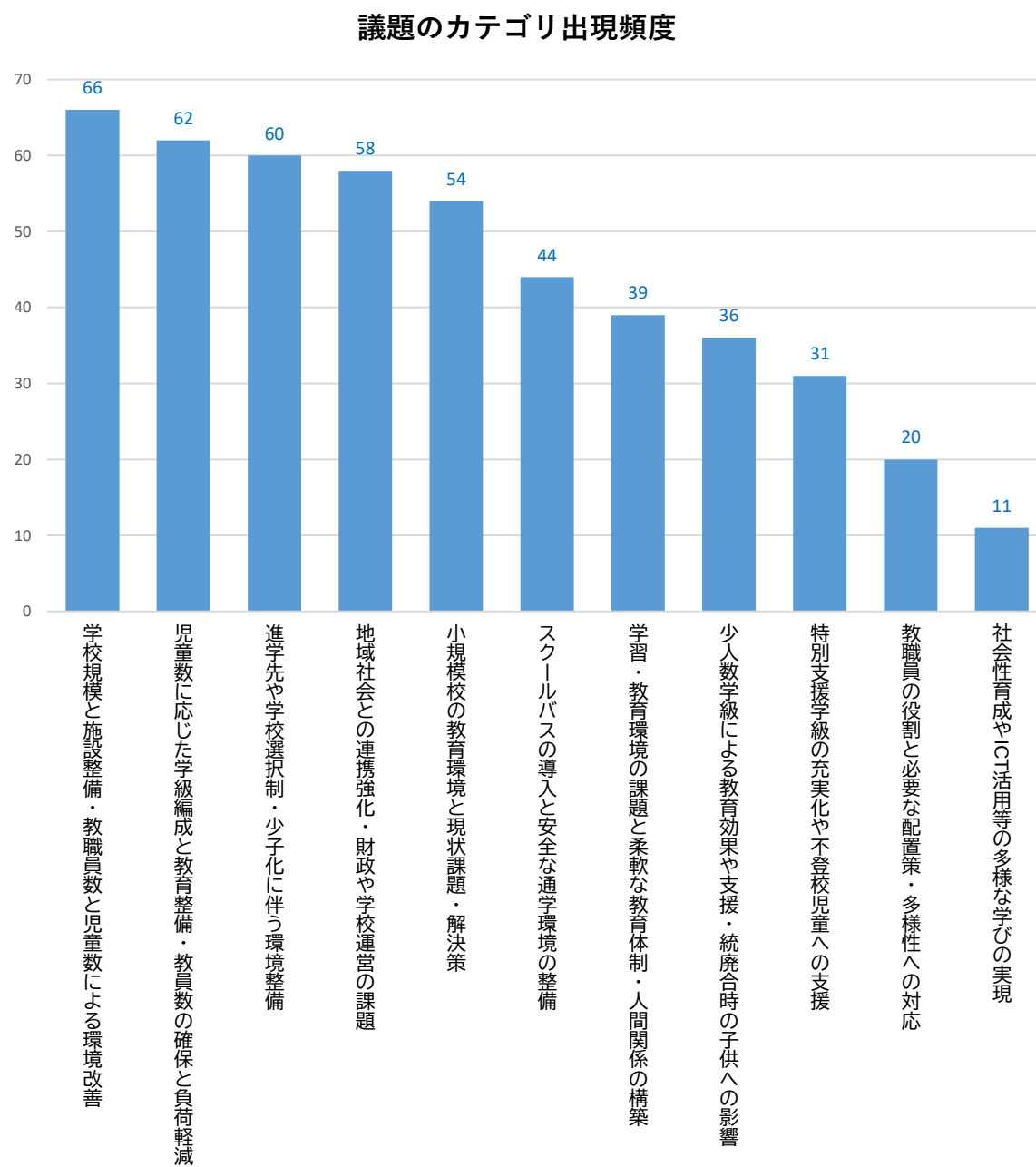
6. 統計解析による傾向分析

Q20自由記述に対する解析

■ 記述（109件）の中で、多かった課題・項目（上位5つ）

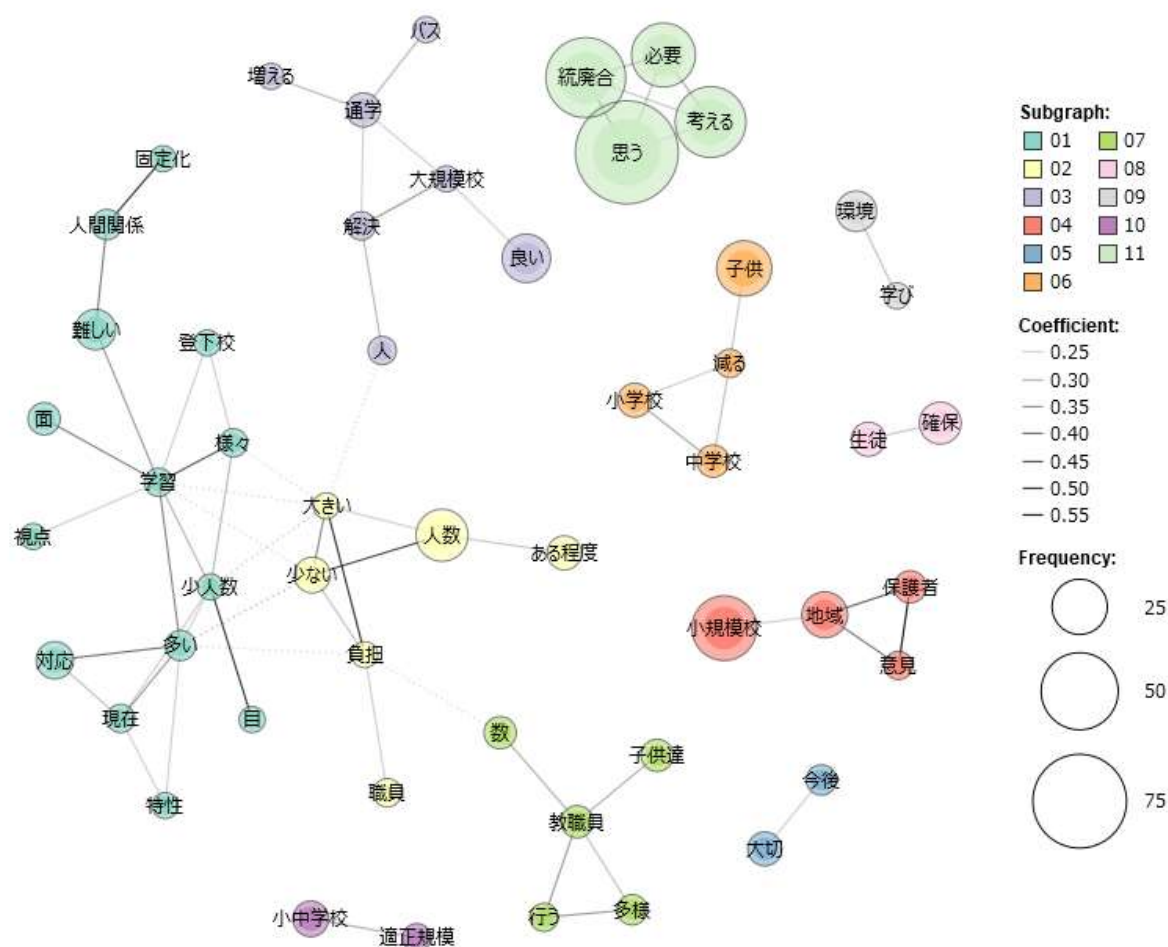
- ①学校規模と施設整備・教職員数と児童数による環境改善
- ②児童数に応じた学級編成と教育整備・教員数の確保と負荷軽減
- ③進学先や学校選択制・少子化に伴う環境整備
- ④地域社会との連携強化・財政や学校運営の課題
- ⑤小規模校の教育環境と現状課題・解決策

▼クラスター解析による議題の分類



■ 自由記述に対する解析

【概要】 共起ネットワーク図による分析



解析ツール：KH Corder（Jaccard 係数, 最小出現数 5）

「共起ネットワーク」とは、出現する単語の関係性をネットワークとして表現します。単語の関連性を可視化し、文章全体の傾向を把握できます。円の大きさは単語の出現数、円同士を繋ぐ線と太さは語の関連性の強さを表しています

<語の説明と表の見方>

Subgraph：関連性の強い語ごとに分類され色分けされたもの

Coefficient：語の繋がりの強さを表す数値

数値が大きいほど線が太くなり、繋がりが強いことを表す

Frequency：単語の出現回数

出現回数が多いほど円が大きくなる

【解釈】 共起ネットワーク図での分析による主な論点

- ・ 教職員の人数不足による負担の大きさ
- ・ 小中学校の児童数の減少について
- ・ 少人数における学習特性や人間関係の固定化
- ・ 通学時に必要なバスの整備

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
1	ある程度の規模で学校運営が継続可能な形での統廃合が望ましいと思います。
2	職員の増員
3	校区の拡大による学校が把握しなければならない範囲が拡大されることの問題点、児童生徒の通学や保護者の送迎について具体的に考えていく必要があると感じています。
4	一定数の教職員の確保は、子どもたちへの多様な教育活動を行うために、とても重要なことであると考えます。
5	教育環境の面で統廃合は必要
6	学区の見直しを含めて、適正な学校規模が保持できる統廃合を進めるべきだと思います。
7	小規模校では児童数だけではなく職員数も少なく、1人当たりの負担がとて大きいです。一人一人のよさが生きるよいこともたくさんありますが、ある程度の人数は子どもにも大人にとっても必要だと感じます。
8	児童生徒の減少により、小中学校の統廃合は仕方ないと思う。その場合、生徒が遠方から通学する方法を市が支援する必要があると考える。
9	小規模校を減らし、統廃合して適正規模の小中学校になることを望みます。
10	基本的には、運営や金銭的な面からも学校の統廃合は賛成です。ですが、小規模校も残し、必要に応じて選択肢の一つになると思います。
11	不登校が34万人を突破したと聞く。小規模校の維持にはコストがかかるが、教育の場の選択の観点からも小規模校の存続の道筋の可能性もあってもよいのではないかと考える。
12	教員の働き方改革という視点から考えると、ある程度の学級規模を確保し、余裕のある教員数が確保されることが、児童生徒のためにも好ましいと考える。
13	統廃合には賛成だが、少人数で目の行き届く学びの環境はとても意義があると思うので、一概に言えない。学校を選択できるようにすると、小規模校の児童生徒がますます減ってしまう可能性があると思う。
14	施設の改修や、生徒の学区外登校等多くのが運動していきますので、早くに方針を決めることに賛成いたします。小学校ではある程度、地域コミュニティを配慮した区分での小規模校の統合等があると思います。中学校以降は最低限の規模が確保できるように生徒を集中させることが必要だと思います。
15	小規模化に伴う制約は、人の問題なので解決は難しいが、少人数化によるメリットを追って改善していくことが子供のためになると考える。
16	少子化が加速していく昨今、これまでと同じような学校運営が難しくなっているため、学校組織を再編するか、学校の教育活動を再考する必要がある、個人的には学校行事を見直すステージ（体育祭や合唱祭の廃止等）になっていると考えます。
17	1クラスに在籍する児童生徒の人数について、見直し
18	小規模校から中大規模校への通学を可能にすることで選択肢が増えることはとても良いと思う反面、小規模校の人数が更に減少してしまう懸念もある。そうした時に、小規模校に通学したいと思っていても、登下校を考えると躊躇している保護者もいると思うので、その辺りが解決されれば、小規模校の人数もある程度保てるのではないかとと思われる。
19	児童生徒数の減少が避けられないことを考えると、小中学校の統廃合は致し方ないことだと思う。
20	多様な価値観を認め合うという観点からも多くの人と学び合う機会を設定することが大切だと思います。
21	学校が地元の人々、自然、特産物、農業、企業等を生かしながら、ICTも駆使しながら、地域全体が豊かになれるような学びを作っていける、地域社会を支える拠点として進化するといったのではないかと思います。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
22	①小学校でも専科制をすすめていくこと。教科の専門性を生かした授業の展開、教員の授業準備の負担軽減につなげる。 ②統廃合により、学校独自のカリキュラムをよりスマートに再編し、見附市内の学校でよりコンパクトなカリキュラムを実施する。どの学校にも、10年20年30年と続けている取組があると考えられるが、再編を機に中止や簡易化を図る。 ③全学校全箇所での洋式トイレの設置
23	安心安全
24	小中学校の適正規模実現のための統廃合には賛成です。しかし、学校数が少なるのに伴って現在働いている教職員数が削減されることのないようにしていただきたいです。
25	小学校の複式学級は解消したほうが良いと思います。
26	統廃合することでのデメリット、メリットがあると思うが、教育の質や学習環境を考えるとある程度の児童、生徒数があることが望ましいと思う。
27	どの学校でも同じ教育を受けられる環境を整える。
28	可能なら、義務教育期間中に、子どもが複数回の統廃合を経験しないようにしてほしい。
29	少子化なので、統廃合してもよいと思う。
30	複式学級を初めて本校で経験しました。複式学級の良さは身に染みて感じました。児童同士が仲良く、お互いのことをよく知っていることで、児童は安心して学校生活を送れている。よい伝統が引き継がれやすくなっていくのもよいと思う。人数が少ないからこそ、学校生活で大きな問題をおこすことなく生活できている児童もいると思う。 しかし、学習面を考えると、なかなか切磋琢磨してお互い向上することができなかったり、創造的な活動に限界も感じた。どちらが良いかは、難しい問題だ。
31	以前、小規模校に勤めていました。小規模だからこそ成長できた児童もいましたし、地域の方々や保護者も非常に協力的であたたかい学校でした。思い入れがある分、統廃合は寂しいですが、人間関係の固定化や授業中での意見の多様性については、小規模校の難しさを感じることもありました。
32	適正規模があると思う。せめて、複式は解消し、同学年12人以上で、グループ学習や話し合いが成立する人数が必要と考える。
33	小規模校での人間関係は逃げ場がなくとても難しいと思います 1学年20人以上はいるような統合が望ましいと思います
34	多様な児童生徒に対応できるように、教職員もある程度余裕が必要である。また、環境については安全安心が一番であり、周辺の道路状況にも配慮が必要であると考えます。小中学校の統廃合は必要なことだと思うが、スクールバス等の対応が不可欠である。また、それぞれの地区で行われてきた地域学習についても継続できるか検討していく必要がある。
35	見附市の将来を見据えた、思い切った統廃合が必要だと思います。市内に8校しか小学校がない中で3校もオープンスクール制度となっているのは、見直したほうがよい。
36	小さい規模での統廃合は、教員の業務の増加につながり、統廃合の意味がない。中学校であれば、全市で1校に統合する検討が必要でないか。また、その1校の分校として学びの多様な学校を併設することも同時に検討したほうが良い。
37	児童生徒の不登校や別室登校が増加している。統廃合によって、そういった児童生徒の学びの場がなくなならないよう、校内支援センター等に、不登校支援専門で在職中の職員が必要だと思う。
38	統廃合はやむを得ない状況と考えるが、直ちに判断・実施すべきところと、丁寧に理解を得ながら進めるべきところを慎重に見極めていただきたい。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
39	統廃合を進め、人的環境、教育環境の整備のために、限られたお金を集中してほしい。
40	小学校、中学校ともに可能な限り地域に残すべきだと思います。学習の環境の面から考えると、無理に遠方の学校に通うことになったり、慣れない環境で最初の段階で躓いてしまう生徒もいると考えるからです。しかし、部活動については、本人のやりたい競技はあると思うので、小規模校で希望に添えない場合は合同チーム等学校同士の連携も必要だと思います。
41	学級数の問題よりもークラスの人数を少なくしてほしい。それにより複数クラスになり、教員の人数や教科専門の先生を配置してもらえ。
42	統廃合には賛成です
43	スクールバスでの送迎など、学びの環境以外も整えて行けると良いと思う。
44	通学方法や通学距離・時間の問題が解決できるなら、統廃合に特に反対はない。
45	小学校のトイレを利用した時に汚く、トイレを利用したくないと思ったので、早めに改装してあげて下さい。
46	地域や保護者の声を十分聴き、様々な意見をもとに決めることが大切だと思います。
47	子供さんが少ない地域の子供たちは自分が行きたいと思う学校にいけるようになったらいいなと個人的には思います
48	教育の質を落とす事なく、今後も取り組んでほしい。 中学校は、専門分野の職員が必要だと思う。
49	実情を踏まえ、子どもたちの心を優先に進めていただきたいです。よろしくお願いいたします。
50	統廃合を進めていく中で、スクールバスの確保が必要になるが、登下校でバスの運用をするにあたり、校外学習のバスの確保が難しくなると思います。小学校3、4年生は社会科、総合的な学習で様々な場所に見学に行くことが想定されるので、運転手、バスの確保等含めて考えていただけるとありがたいです。
51	統合することは賛成です その際登下校の通学手段の方法の確立やクラスの見直しなど子供 ファースト の取り組みをしていただきたいです
52	生徒数や教員数の確保のため、小中学校の統廃合を早く取り組む必要があると思います。
53	子供の人数が減り、小学校、中学校の統合や閉校は仕方がないと思うが、一力所に大勢を集めるより、ある程度の人数でいくつかの小規模学校があった方がいいのではないと思う。
54	学校統廃合にかかわって、閉校する学校に勤めたことがあります。閉校に当たっては、子どもたちは本当に様々な思いをもち、統合先の学校に通い始めました。今後、見附市においても統廃合が検討されるかと思いますが、私たち教職員は決定されたことがどうあれ、子どもたちに寄り添って前向きな気持ちになれるようにサポートしていくことに全力を尽くすだけだと考えています。保護者の皆様のお考え、地域の皆様のお考え、市の予算など様々な観点から熟議がされることと思いますが、子どもたちの思いを大切にした議論が進められることを望みます。
55	時代の流れに柔軟に対応できるよう、素早く条例等を変更できるようにすることが大切だと思います。
56	今後の入学者数の推移を見て、統廃合の必要も考えていかなければならないのではないかと。
57	小規模校は特色や良さもあり、希望する家庭もあるように思います。 統廃合については、在籍する子どもや地域の希望も聞くことができたと思います。 中学校はこのままで4校でいいと思います。
58	子供の少子化、建物の老朽化に伴い、通える範囲内での統合は仕方無いかもしれない。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
59	アンケートでも回答しましたが、人数が少ない良さも多々あると思いますが、行事等の制約や関わる人の固定化が考えられると思います。今後、統廃合が必要になってくると考えます。
60	各校、多様性への理解と対応ができるようにし、市内児童生徒、一人一人の教育的ニーズに対応できる学校をつくる必要だと考えます。統廃合を進めるにあたり、小規模校なら通える児童や生徒もいることを想定していただけると大変ありがたいです。
61	学校は集団生活を学ぶ所です。
62	部活動は継続してほしい。そこでしか経験できない人間関係や感情などがあるから。
63	中学校は、各方面で最低数の配置なのでそのまま良いと思う。 小学校は、特性のある子供が増えている現状に対応し、上北谷や田井など各学校の素晴らしい特性を生かし(小規模、自然が多い、のどか)自由に楽しく通えるようなクラスを設ける(市外、県外からも来たらなお良い)→通学出来るようなバスもあると親の送迎負担も減って助かりそう。 県外移住する方向けに、体験通学ができるようなシステムを作る。(人口も増える=子どもも増える) リモートで各学校と関わる事も良さそう
64	統廃合が数年で繰り返すことがないように、数十年先を見越した統廃合を検討することが重要だと思います。
65	小中学校の統廃合については、児童、生徒たちの思いや意見を第一に考えられたものであって欲しい。統廃合をするのであれば、児童、生徒たちに、多様な選択肢のあるものが望ましいのではないかと、思う。
66	小規模校ほど地域の特性を活かしたり、地域との深いつながりの中で学んでいるように感じる。地域の中で安心して学び、自分を表現できる環境はとても大切だと思うので、人数だけで統廃合を進めるのではなく、慎重に検討した方がよいと思う。
67	持続可能で安定した教育環境の実現に向けて、「適正規模」という視点で述べさせていただきます。今後、国、県が示す適正規模よりも大幅に構成人数が少なくなり、1学級1人（複式学級でも2人）で学習する環境が、いくつかの学校で予想されています。現学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学び」の実現は難しい面が多いと考えます。仮にオンラインを通じて対話する人数を増やすとしても、これが、「子どもにとって」持続可能な環境を提供していることになるのだろうかという疑問をもちました。また、休み時間には同じ学年等の子ども同士で、おにごっこなどさまざまな遊びをとおしてふれ合うことが、「子どもの楽しみ」でもあり、さまざまなメリットがあるかと思います。この仲間同士のふれ合いは今後ますます大切になると思います。こうした面からも、「適正規模を大幅に下回ることによる子どもへの影響」を不安に感じました。
68	少子化が問題となっている現在、小中学校の統廃合はやむを得ないと思いますが、小規模ながらに特性をいかした教育が出来るのであれば、それを継続してもらいたい気持ちもあります。
69	教職員の数、子どもの数が減る中で、学校の統廃合は致し方ないと思います。どんな形であれ子どもたちが安心して学べる環境であってほしいです。
70	特別支援学級や通級指導教室の増設が年々増えているように感じます。 従来の学校施設の教室数では不足すると思われるので、校舎の増築、改修なども必要となると思われ、その点が心配です。
71	子どもたちを視点にして統廃合を考えてあげてください。地域の高齢者や大きな声の保護者の意見で市長や市教委が流されないように大義をもって対応してあげてください。
72	小規模校にはかけがえのない小規模校のよさがたくさんある。小規模校の保護者や地域の意見・考えをよく聞くことが最も大切だと思う。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
73	バスなどの通学的手段を確保し大規模校に統合したほうが良いと思います。
74	少子化なので、統廃合を推奨します。
75	しょうがないと思う
76	1学級の児童数が少ないのも問題ではありますが、多すぎるのも問題だと思います。通常学級、特別支援学級の児童数を合わせた「実際の活動を行う際の学級児童数」を考慮して、余裕を持った学級児童数になるようにしていただけるとありがたいです。
77	小規模校だと学び合いができてにくい。統廃合は必要と考えるが、反面、地域との交流やつながり薄くなり、活性化しにくくなりとも考えます。
78	時代に合った新しい学校づくりに努めたいと思います。
79	「〇〇教育」と称されるものの削減。教科時数の削減。教員の業務内容の精選（勤務時間外の面談の禁止等）。外国語の廃止。（必要感が感じられない。） 統廃合は子供の数の減少により、進めるのは当然。人員や予算面からも必須事項と考える。
80	見附中学校の生徒数が減り、西中学校の生徒数が増加してきている。見附小学校区の子どもは現在、見附中と西中に分かれて進学しているが、全員見附中に進学するというようにしていてもよいのではないかと考える。
81	中学校は教科担当制なので、バランスよく、人数を確保してほしい。ある程度専門性がないと学校が学びの場としてものたりなくなる生徒も出てくると思う。
82	今現在、校舎の教室の数が足りなく、生徒の更衣室さえない状態です。統廃合するのであれば、きちんと設備面での充実も図ってほしい。
83	更なる人口減少、児童数減少を見込んだ対策が必要。
84	小規模校でメリット以上にはいろんな問題があります。 至急統廃合の議論を進めていただきたいです。
85	小中学校の適正規模化は必要だと思う。小中学校の統廃合を進めてほしい。
86	小さい学校、大きい学校それぞれ良さがあり、改善すべきところがあると思う。また、その子に合う学校選びができると思うため学区で区切らなくても良いのではないかと考える。大勢いたから多様性が学べるとも限らないのでどんな規模であっていろんな人がいることを大人が伝える必要がある。友達と切磋琢磨することも子ども次第であるためそれをいかにやる気にさせるかどうい子なのか見抜ける大人がいるといいなと思います。
87	人間関係の固定化を、子どもだけの力で解消するのは難しいと思います。統合することにより、多様な関係づくりができ、新しい関係を作ることができる（やり直しができる）ようになるのではないかと思います。
88	児童生徒の人数にかかわらず、教職員の確保をしないと、対応が難しいと思う。オープンスクール制度やオンラインでの学習、別室登校など、様々な取り組みを行うのであれば、その取り組みを準備・実施できるだけの職員の人数に余裕がないと難しい。現在の教職員数で、さらにこれらの政策を行うとなると、教職員の負担はさらに大きくなり、学校運営自体が難しくなると考える。 児童生徒数があまりに少ないと、人間関係が固定化され、幼少期からの関係性が続くことで新たな挑戦がしづらくなると思う。（前任校が1小1中で、関係が変わらないために苦労している児童生徒が多くいた。）小規模校には小規模校の良さもあり、境界線の児童生徒にとっては、少人数でよく見てもらえるほうが合っている場合もあると思う。オープンスクール制度はよいと思うが、登下校の負担等はどのように支援してもらえるのか、考える必要があると思う。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
89	必要であると思います
90	小規模校であっても、学びを多様化することや多角的に物事を見ることはできなくはないと思います。質問項目にもあったように、外部との交流や、地域・保護者を交えたものにすれば、それだけでも多様な意見の中で学ぶことができるはずです。 ただ、学校予算や交流可能かどうかの観点から、実際に行うのが難しいということもあるかもしれません。 予算との兼ね合いをもとに、統廃合した方がより良い学びの環境になる・職員も専念して、働きやすい環境になるのであればいいのではないのでしょうか。
91	子どもが減っているのであれば、なおのことコンパクトさを生かし、一人一人に教育環境に格差が生じないよう1学年2～3学級規模で一人一人の子どもに行き届いた教育が提供できるよう、市を挙げて取り組むべきだと考える。
92	生徒ももちろんそうだが、教員のほうの確保も念を押しておりたい
93	小規模校の特色については明記されているのですが、少人数のメリットについての明記がなく残念に思いました。
94	統廃合は重要と思う。しかし、まずは現在の学校環境、特に施設や用具の老朽化に対応していただきたい。今現在の生徒たちの環境が悪化したまま改善されていない所が多すぎる。
95	それぞれの学校の特色があるので、統廃合したときにどう生かすかが大切だと思います。 スクールバス等の手配等も多忙化につながらないようにしてほしい。
96	どのような規模・形態であったとしても、加配教員の配置も含め、人的環境の充実を図ってほしいと思います。
97	小規模校と中大規模校それぞれに良さがあるのだらうと思いますが、近隣市町村を見ても統廃合は進んでおり見附市だけはしなくてよいと思える理由が見当たらずにいます。統廃合は必要なことだと考えます。
98	地域住民に丁寧に説明しながら、慎重に統廃合を進めてほしい。統廃合に伴って、家から遠い児童は学校まで安心安全に登下校できるように、スクールバスに乗れるよう配慮してほしい。
99	見附小学校から見附中と西中へ分かれての進学は望ましくない。見附中学校の生徒確保の上でも見直しが必要と感じている。見附小の学区を変えることなく、そのままで見附中に進学するのが良い。
100	部活動の事実上強制加入を無くす。
101	子供の数が少なくなっているので、統廃合はやむなしと思います。子供は大勢の中で育てるべきだと考えます。教育の質を高めるためにも、教職員の定数は上げるべきだと思います。理想は学年3クラス以上です。それ以下は、教員の人数と分掌の数が見合わず、非常に負担が大きいです。ぜひ適正人数を確保して、学校生活がスムーズに遅れるように配慮願います。
102	障がいやその疑いのある子どもたちへの加配教員の充実。多様な学び方や参加の仕方を考えていってほしい。 教職員の負担軽減。
103	人間関係の固定化は、子供のみならず現代の親にとっても良くないと思います。統廃合は致し方ないとして、どこに行くか、どこを選ぶかも親子で考え、体験していくことは良いことだと思います。

No.	Q20 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。
104	1学級の人数が少ないと、いい面も悪い面も多々あります。 <授業面> 個人差や人数の関係で、話し合う（考えを出してもらおうような）授業がほぼ難しく、ほぼ個別指導になってしまう場面になってしまう ○個々に応じた指導ができる（個性や特性、学習能力に対応できる） ●いつまでも待ってもらえる（常にマイペース） ●呼べばすぐに来てくれるので自己解決しようとしにくい ●個々の手厚い対応に慣れすぎている 子どもに対する大人の割合が大きいの、良くも悪くも個々に目がいき、子ども同士で解決せず、教師と児童で解決になってしまう場面が多くみられます。（大規模校だったら、自分達で何とかしてしまう...という状態でも、小規模校だと、目が行き届いてしまう） <人間関係> ○幼少時からの旧知の仲なので、お互いのことを把握しているのでよく気付く ●少人数のため、学級内で自分と気の合いそうな仲間を見つけるという選択肢がほぼない ●様々な（性格や個性のような）人に接することができないので、多種多様な人が存在することを知らないで育っている ●そっと構わないでいてほしいような時でも、放っておいてもらうということができない （大規模校なら、目につかないことでも、少人数なので他人の目に留まり、逃げ場がない） <地域や地元> ○地域と密着な繋がりがあり、自分の家族の在校生がいなくても、行事やボランティアなどで協力してくれる地域住民が多い。 結果、地域と学校が一体化し、地域ぐるみで楽しむことが子どもたちにも伝わり、自然と「ふるさと見附を愛する子ども」が育っている 長年勤務してきて、小規模校ならの良さ・問題点を、アンケートと重複している点もありますが、1個人としての視点で、長々と考えを書かせていただきました。
105	予算を1つに充て見附の中学は1つにしてみる。
106	見附市の学校統廃合は、市の財政の面から考えれば、早急に、方向性を求めていくしか無いけれど生活圏や、家庭の経済的負担や核家族、1人親など等、また、見附市で生活圏を小さくまとめた、もの、として各分野が集まり、見附未来図みたいな形づくりを、皆んなが、わかりやすい説明、未来図を並行して、発信してみたら、どうかと思います。
107	小規模校は残すべきであると考えます。しかし、小規模校だからと言って教職員数を減らすのは避けていただきたい。小規模校の良さを活かすことができなくなります。
108	小規模校には小規模校ならではの良さがあると思うので、統廃合が必ずしもいいとは言い切れないが、ある程度の人数がいることで生まれる第3者の視点は、児童生徒の社会性を育む際に必要なものだと考える。
109	今後、少子化が進む中で、見附の子どもたちが、笑顔で活動できる学校環境づくりが大切だと思います。前向きな統廃合は、必要だと思います。

※個人が特定される等の意見内容によって必要な修正を行っています。